

平成22年度生徒募集

三重中学校 三重高等学校

学校説明会のご案内

2009
7/10 (金)
17:30~18:30

フレックスホテル <3階>

〒515-0019 松阪市中央区36-18
(松阪駅より徒歩5分)

※ホテル北側に大きな駐車場がございます。



対象：原則として小学5・6年生の児童と保護者、中学2・3年生の生徒と保護者

※申し込みの必要はありません。直接会場にお越しください。

三重中学校・三重高等学校の説明会は、それぞれ別の会場で行います。

説明会終了後に、進学相談・質問を受け付けます。

お問合せ先

学校法人梅村学園 〒515-8533 三重県松阪市久保町1232
三重中学校 TEL:0598-29-4001 FAX:0598-29-6012
三重高等学校 TEL:0598-29-2959 FAX:0598-29-6944

※日々の教育活動はホームページでもご覧いただけます。三重中学校、または三重高等学校でご検索ください。



皆様には、本校の教育につきまして、日頃よりご理解をいただき、厚く御礼申し上げます。お陰をもちまして、人間性豊かな教育を実践する学校として、また、スポーツ・学業の実績に、各方面から高い評価と期待を本校に寄せていただいています。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と深く感謝しております。今後とも皆様のご期待に沿えるよう、時代の流れに応じ、本校が理想とする教育を力強く推進してまいります。

つきましては、別記のように、本校の目指す教育についてご説明する機会を開きます。説明会では、三重中学校・三重高等学校の平成21年度入試の結果説明に加え、平成22年度生徒募集要項も合わせて発表いたします。本校受験をお考えの児童・生徒と保護者の皆様のご出席をお待ちしております。

三重中学校

平成22年度 生徒募集要項

募集人数 / 第1学年 約140名
(前期試験で約125名、後期試験で約15名)
学級編成 / 1クラス35人を編成の基準とし、
4クラスで1学年を編成します。

- | | |
|------|---|
| 前期試験 | ・出願期間
平成21年12月14日(月)～平成21年12月19日(土)
平成22年1月6日(水)～平成22年1月7日(木) |
| | ・試験日時
平成22年1月11日(月・祝日) 午前9時から |
| 後期試験 | ・試験科目
国語(I・II)・算数(I・II)・理科・社会 |
| | ・出願期間
平成22年1月14日(木)～平成22年1月16日(土) |
| 後期試験 | ・試験日時
平成22年1月17日(日) 午前9時から |
| | ・試験科目
国語・算数 |

三重中学は、大学進学のための学習にとどまらず、大学に進学したのちも、また、社会に出てからも幅広い視野を持って活躍できる人間の育成を目指し、日々の教育活動に取り組んでいます。

学習については、「効率的な学力の指導」「個性を生かす進学指導」「幅広い知識に触れる機会」を基本にした指導の中から、一人ひとりの優れた能力を引き出します。そうした指導は大学への進学実績となってあらわれ、全国の有名国公立大学に多数の生徒を送り出しています。



本校の特徴は行事にも表れています。高い評価を受けた芸術家を招いての芸術鑑賞会、大学や研究機関の訪問、研究者を招いての特別授業など、普段の授業では得られない機会を通して視野を広めます。クラブ活動では、上級生と下級生が一緒になって、励ましあい、鍛えあうクラブ活動を実践しています。運動部では、毎年地区の大会を勝ち抜き、県大会に出場するクラブがあります。文化部でも積極的な活動を行い、高い評価を受けるクラブがあります。

三重高等学校

平成22年度 生徒募集要項

募集人数 / 普通科 420名(内部進学を含まない)
(進学コース340名、特進コース80名)

- ・出願形態
「推薦」・「一般」
- ・出願方法
「推薦」は次の3つから志望するパターンを1つ選んで出願して下さい。
①特進コース②特進または進学コース③進学コース
「一般」はコースの志望はできません。
- ・出願期間
平成22年1月12日(火)～平成22年1月15日(金)
- ・試験日時
平成22年2月1日(月)午前9時15分～午後2時55分
- ・選抜方法
「推薦」・「一般」ともに、5教科の同一試験を行います。

梅村学園の建学の精神の要約は「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」です。三重高校の校訓「真剣味」はここから来ています。本校では「建学の精神を体して、すべての生徒が心身の発達段階に即し、一人ひとりの能力を最大限に発揮できるように努める」という教育方針に沿って、生徒の第一希望が100%かなえられるような指導を行います。

授業時間を確保するために学期を2学期制とし、月2回の土曜授業日を設けています。しかし、放課後のクラブ活動も活発で、18の体育系クラブ、17の文化系クラブがあり、勉学との両立を目指しています。



運動クラブの印象が強い学校ですが、今年の夏に三重県で行われる全国高校総合文化祭に向けて、文化部も張り切って活動しています。

オーストラリアの学校と姉妹校提携をしており、語学研修や短期留学など国際交流も活発に行っています。もちろんホホームステイの受け入れもしています。

進路については、国公立大学の他、学園内大学への特別推薦枠をはじめとする指定校推薦枠も多数あります。

三重中学での3年間

東京大学 理科I類 青木渉一郎

卒業生の声

皆さんは三重中学校の良いところはどこだと思いますか。やはり中高一貫の私学ですから勉学の面に対し期待している方も多いでしょう。確かに高校受験がないという利点を活かし、中学のうちから高校程度の内容の授業が受けられますし、その授業をしてくださる先生方は、難しい高度な内容もわかりやすく簡潔に説明してくれます。またたとえ理解できなかったとしても、後で質問にいけば丁寧に教えてもらうことができます。ただ僕が三重中学にきて本当に良かったと思ったところは、それとは少し違うのです。

僕にとって三重中学の最も良いところは、なんといっても毎日の充実した生活でした。個性豊かで素晴らしい友達と受ける授業、時々はやがすぎで先生に叱られたりしましたが、皆熱心でクラス全員が積極的に授業に参加していました。放課後はチームメイトとともに県大会出場を目指し、一生懸命活動していました。僕はサッカー部に所属し、念願の目標が達成されたときの感動は今でも覚えています。また、三重中学は全校生徒が盛り上がる大きな行事が多かったと思います。まず旅行では、1年のスキー合宿、2年の夏期合宿、3年の研修旅行と3回もあります。写生大会では下手ながらも丸1日かけて絵を描きました。体育祭では学年縦割りなので初めて話す上級生や下級生と仲良くなることができました。ほかにもメンバー1丸となって大成功した1年のときの演劇や、なかなか作業が進行せず締め切り間際にやっとの思いついて映画を撮った学園祭なども楽しい思い出として心に残っています。

このように三重中学は勉学の面のみならず学校生活においても素晴らしい場所です。人との出会いにも恵まれています。皆さんもこの三重中学で一生の素敵な友人をみつめてください。

全国優勝の瞬間

立教大学 コミュニティ福祉学部 岩淵 英里

私はソフトテニスで「高校日本一」になるという大志を抱いて3年間三重高校で文武に励みました。過去に全国大会での成績も少なく、不安な部分もあったのですが、インターハイでは同じ高校生なのだからいくらでも勝てるチャンスがあると信じて試合に臨みました。試合中は無我夢中で、一戦一戦をチーム一丸となって戦いました。チームがまとまり、一つになれたことも大きな勝因の一つだと思います。優勝の瞬間は今でも鮮明に脳裏に焼きついていて、最後の1ポイントが決まった瞬間は、チームの仲間と練習に励んできた一日一日が無駄ではなかったと思うことができた瞬間でした。

全国優勝までの3年間は楽しいことよりも、辛いことや苦しかったことのほうが多かったように思います。テニスをとおして、一つの目標に向かって努力することの大切さを学ぶことができました。練習を続ける中では、諦めかけたり、投げ出したくなったとき、今振り返ると、監督、コーチ、チームメイト、家族など、たくさんの人の支えがありました。今の自分があるのは、この人たちのおかげです。これからも支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、少しでも恩返しをしたいと思っています。また、この結果におごることなく、今後も勉強とスポーツに励みます。

一つの目標に向かって努力するという事は、たとえ結果がどうであれ決して無駄にはなりません。皆さんも是非たむきに頑張ってください。